

令和元年度（2019年度）学校版環境ISOへの取組 概要報告

管内	市町村	学校名
熊本市	熊本市	熊本市立河内小学校

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>【児童】「河内小学校環境 ISO 宣言」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯みがきはコップの水を使います。 ・ ぞうきんはバケツであらいます。 ・ 天気に合わせて照明のつけ消しをします。 ・ 必要のない電気は使いません。気付いたら消します。 ・ 教室から出るゴミをへらします。 ・ 紙ゴミはリサイクルします。 ・ 植物のお世話をがんばります。 ・ 進んで体験活動や草取り，そうじに取り組みます。 <p>【職員】「河内小学校職員環境 ISO 宣言」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トイレの水を節水します。 ・ 教室を離れるときは電灯を消します。 ・ 玄関・階段・廊下などの節電にも気を配ります。 ・ 名刺より大きい紙はリサイクルボックスに入れます。 ・ 両面印刷に心がけます。 ・ ペーパーレスを目標に印刷用紙の節約に努めます。 ・ 児童とともに栽培活動に取り組みます。 ・ 子どもたちと，地球の環境保全を意識する心を育てます。
行動		<p>(1) 校内での取組</p> <p>① 児童集会での呼びかけ 業間の児童集会を利用して，環境委員会から「学校版環境 ISO」について呼びかけを行った。全校児童に活動内容を説明して，日常生活の中でみんなで努力していこうと呼びかけた。今年は，節電と節水を重点的に取り組むことを宣言した。</p> <p>② 水の節約 食後の歯磨きやフック化物洗口の時は個人のコップを使ってうがいをするようにしている。また，雑巾を洗う時も必ずバケツの水を使うように取り組んでいる。さらに，栽培活動での水かけの際には「雨水くん」の水を活用するように取り組んでいる。</p>

	    	<p>③ 紙のリサイクル 各教室に紙用のリサイクルボックスを設置し、教室から出た不要の紙は資源物として扱い出している。数年継続した結果、名刺大以上の紙をリサイクルしようとする意識が定着してきている。</p> <p>④ 緑化活動 環境委員会が中心となって花苗を種子から育て、一人一鉢や学級園での栽培活動に使っている。学校園やプランタは環境委員会が管理し、毎日の水かけや除草、施肥を交代で行っている。 月1回、業間に「グリーンタイム（10 分間）」を設定し、全校児童一斉に鉢や花壇の花苗の世話をしている。</p> <p>(2) 家庭、地域との連携した取組</p> <p>① プールへの EM 菌投入 地域の環境保護に活躍されている「せせらぎの会」の方々の協力を得て、水について学習している4年生は、総合的な学習の時間を活用し EM 団子を作っている。また、EM 菌を毎年学校のプールに投入している。さらに、水泳の学習終了後9月にも投入しているため、アオコや汚れも付きにくく、5月のプール掃除が手早く終わることができる。これは、節水への取り組みにも役立っている。</p> <p>② 河内川のホタルや水棲動物の観察会 水について学習している4年生は学校のそばを流れている河内川に、ホタルが住めるようなきれいな川にしたいと、テーマを決めた。「せせらぎの会」の協力で、7月には河内川に芳野小学校5年生児童と協力して、ホタルの幼虫を放流したり、水棲生物の観察会を行ったりしている。また、EM 団子を河内川に投入し、川の汚れを減らそうとする活動をしている。</p>																																																				
<p>記録</p>	 <p>河内小電気使用量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>7000</td><td>7500</td><td>7000</td></tr> <tr><td>5月</td><td>6000</td><td>6500</td><td>6000</td></tr> <tr><td>6月</td><td>7000</td><td>7500</td><td>7000</td></tr> <tr><td>7月</td><td>10000</td><td>10500</td><td>10000</td></tr> <tr><td>8月</td><td>10000</td><td>10500</td><td>10000</td></tr> <tr><td>9月</td><td>7000</td><td>7500</td><td>7000</td></tr> <tr><td>10月</td><td>7000</td><td>7500</td><td>7000</td></tr> <tr><td>11月</td><td>7000</td><td>7500</td><td>7000</td></tr> <tr><td>12月</td><td>7000</td><td>7500</td><td>7000</td></tr> <tr><td>1月</td><td>7000</td><td>7500</td><td>7000</td></tr> <tr><td>2月</td><td>8000</td><td>8500</td><td>8000</td></tr> <tr><td>3月</td><td>8000</td><td>8500</td><td>8000</td></tr> </tbody> </table>	月	平成29年度	平成30年度	平成31年度	4月	7000	7500	7000	5月	6000	6500	6000	6月	7000	7500	7000	7月	10000	10500	10000	8月	10000	10500	10000	9月	7000	7500	7000	10月	7000	7500	7000	11月	7000	7500	7000	12月	7000	7500	7000	1月	7000	7500	7000	2月	8000	8500	8000	3月	8000	8500	8000	<p>・昨年度の電気の使用量と水道（プールの使用量は除く）の使用量（4月～12月）を比べてみると、水道の使用量は昨年度の84%だった。また、電気の使用量は昨年度の94%だった。月別に見てみると使用量が多くなっている月があることがわかる。必要最小限にとどめるよう、環境委員会また、職員が中心となって活動や目標を考えていきたい。</p>
月	平成29年度	平成30年度	平成31年度																																																			
4月	7000	7500	7000																																																			
5月	6000	6500	6000																																																			
6月	7000	7500	7000																																																			
7月	10000	10500	10000																																																			
8月	10000	10500	10000																																																			
9月	7000	7500	7000																																																			
10月	7000	7500	7000																																																			
11月	7000	7500	7000																																																			
12月	7000	7500	7000																																																			
1月	7000	7500	7000																																																			
2月	8000	8500	8000																																																			
3月	8000	8500	8000																																																			
<p>見直し</p>	<p>・児童の環境 ISO 宣言について、各学年で項目ごとに反省を行い、自分たちの活動を振り返り、改善すべき点と次年度に取り組む内容や目標値について、考える予定である。</p>																																																					

2 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校版環境 ISO 活動に取り組み、資源や学校環境を大切にしていこうとする意義を理解することができた。職員も児童に配るプリントに関しては、両面印刷（裏面再利用ではない）に努め、印刷用紙の節約に努力した。また、学級では紙のリサイクル活動が定着し、教室から出るゴミに含まれる「紙」の量が大幅に減り、ゴミの減量化にも成果が見られた。 ・ 児童の節水意識も定着してきた。コップを使ったうがい、雨水タンクの活用、じょうろやペットボトルを利用した水やりの姿もたくさん見られた。 ・ ISO 活動への呼びかけや、花の苗づくりなど環境委員会の啓発活動も活発にできた。花いっぱいの学校づくり、節水、節電活動に取り組む児童の姿から、環境保全活動が定着していると考えられる。 ・ 職員の会議等では、両面印刷やペーパーレスを意識したため、紙の節約につながったが、まだ十分とは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校版環境 ISO 活動の「めあて」は環境委員会から提案したものの、児童の意欲を高める活動に深めることができなかった。他の委員会と連携をとった活動も考えていかなければならないと思う。 ・ 児童の宣言を児童集会でしたものの、その後の啓発活動がうまくいかず、一年間という長い期間での取組が十分にできなかった。定期的に呼びかけたり、実態を知らせたりするなどの方法を取り意識向上を図らなければならなかったと思う。すると、環境 ISO 活動の日常化と定着を進めることができたと思う。